

舟溜り地区の歴史やまちづくり、住まいに関する授業

対 象 エ リ ア	敦賀市舟溜り地区
日 時	平成23年11月11日（金） 9:30～10:15
開 催 場 所	敦賀北小学校 3階ふれあいルーム
対 象 者	敦賀北小学校5年生 32名
主 催	福井県
協 力	敦賀市 敦賀市立博物館 敦賀北小学校
講 師	福井県土木部建築住宅課 坂川 慶介 敦賀市立博物館 館長 川村 俊彦 氏 敦賀市都市整備部住宅政策課 奥川 直樹 氏
ね ら い	次世代を担う子どもたちに、小さい時期から住まいやまち並みについて興味を持ってもらい、より良い住環境を次世代に残す意識を育んでもらう。
プ ロ グ ラ ム	1. 住まいの絵本の話 いい住まいには何が必要かをいろいろな角度から考えてもらう 福井県製作の絵本を紹介する。 2. 舟溜り地区の歴史やまち並みの話 舟溜り地区の歴史と共に、舟溜り地区で進めている景観形成についてのお話をする。 3. 土蔵の引越しの話 敦賀市立博物館にある明治初期の土蔵を曳家している様子を紹介する。
準 備 物	・プロジェクター ・スクリーン など



いい住まいとはどんな住まいかを考えてもらうため、子どもたちに「住まいの絵本」を配布して、授業を行った。



いい住まいには何が必要かをいろいろな角度から考えてもらうように、キーワードを設定して会話形式に作った、住まいの絵本の様子。



敦賀市立博物館長からは、舟溜り地区の歴史や、舟溜り地区で実際に取り組まれている景観形成について説明をしてもらった。



★コンセプト：近世の町家と近代建造物が共存する町なみ



敦賀市立博物館
(旧大和田銀行本店)
昭和2年(1927年)完成



景観形成の例などを紹介しているスライドの一部。写真を多く用いて、子どもたちにも分かりやすい内容の授業をしてもらった。

道路の真ん中を移動します



敦賀市立博物館にある土蔵の曳家の様子をスライドで紹介した。

出前授業の感想

5年男子

敦賀は歴史があると聞いていたけど、僕たちの住んでいる北地区が特に歴史が深いと聞いてびっくりした。普段見慣れているところにそんな歴史があるとは思わなかったの、不思議な感じがした。自分の住んでいる場所は昔どんな感じだったのか、もっと知りたくなった。

5年女子

蔵の移動は実際に見て知っていたが、時間がかかるものだとは知らなかった。新しい家の方がいいなと思うことがあるけれど、古い家の魅力もあるということが分かって、自分の家も大切にしたいと思った。